

日韓演劇 フェスティバル

in 大阪

「母と子、日韓の歴史の間で」大阪マダン
2012年2月3日(金)~2月19日(日)

「日本演出者協会」では、演劇を通して、韓国との交流を深めようと、シンポジウムや演劇を含めた、お互いの文化を見合う事業を続けてきました。韓流ブームの影響もあり、日本人の韓国への関心は高まりましたが、日韓併合による政治的な問題から生まれ、今に続く問題への関心は薄く、交流を深めるためにはもっと対話が必要です。

今回、2012年1月から2月にかけ、東京、大阪、福岡の3都市で開催する運びとなりました。

日本の演出家が韓国の戯曲を、韓国の演出家が日本の戯曲を上演、戯曲リーディング、シンポジウム、また音楽、舞踊、詩の朗読、韓国舞台のビデオ上映などを行う予定です。是非、ご来場ください。

日本演出者協会理事長 和田喜夫



日本演出者協会
JAPAN DIRECTORS ASSOCIATION
<http://jda.jp/>

主催／日本演出者協会・韓国演劇演出家協会・ソウル演劇協会
共催／ドーン運営共同体 企画／日本演出者協会関西ブロック
制作／第2回日韓演劇フェスティバル関西ブロック企画実行委員会
平成23年度国際芸術交流支援事業（国際共同制作公演）



日韓共同創作

2月3日(金) 19:00

※18:15~18:45
第2回日韓演劇フェスティバルin大阪
オープニングセレモニー

4日(土) 14:00/19:00

*アフタートーク有り

5日(日) 14:00

会場／一心寺シアター俱楽

前売／3,000円 当日／3,500円

小町風伝

作／太田省吾 演出／李潤澤(イ・ウンテク)

1977年初演の太田省吾の「小町風伝」は、小劇場演劇の古典の名作と位置付けられています。今回の演出李潤澤氏は生前の太田省吾氏から韓国での上演を要請されたが実現できず、今回その要請に初めてこたえる舞台化に並々ならぬ意欲を望んでいます。

安アパートに住む一人の孤高の老婆が目覚めてからラーメンをする朝食の一時に凝縮された世界、アパートの面々との生活の断面と、戦前の青春の中での生々とした人生、老いた現実の中での女の性、能の「卒塔婆小町」の現代版としての太田ワールドを34年経った今、韓国の演出家李潤澤が現在をどう描くか期待したい。

第2回日韓演劇フェスティバル

関西ブロック企画実行委員長 堀江ひろゆき



文化ゲリラ

李潤澤 イ・ウンテク

詩人・劇作家・演出家・シナリオライター・映画監督・ドラマ脚本家・映画夏公演祝祭の芸術監督。1986年、演劇団コリベを創団、カマゴル小劇場を立ち上げた。1990年代、韓国実験演劇の駆手として登場し、地域の演劇人としては最初に、「サンシッキム」(李ヒヨンフ作)、「市民K」、「オグ」、「バボカクシ」等の作品でソウルに進出、韓国演劇界に衝撃を巻き起こした。1994年「請負人」、「横立つ家族」(金義徳作)で東亜演劇賞及びソウル演劇祭受賞。1995年で東亜演劇大賞、演出賞大山文学賞等を総ナメし、韓国演劇を平定した。その後、伝統に墨づいた言葉と身体を用いた舞台表現を通して、観客との疎通を図り続けるとともに、ミュージカルの演出及び制作を通じて、創作ミュージカルの可能性を発展させた。演劇活動を行ないながらも、詩や評論、シナリオ、テレビドラマ、新聞コラムを書く文豪でもあり続け、ミュージカル、歌舞、祝祭劇、イベントの演出など、多方面にわたって、最高の演出家として数えられる、前衛的な芸術家でもある。また、演技の訓練法に對しても関心を持ち、1995年、「我が劇研究所」を設立、演技訓練を通じて演技論の体系を導き出しており、ドイツや日本などで演技ワークショップを実施し、演劇団コリベのメソッドを発展させた。

1999年からは、壇陽演劇村にて、演劇共同体を運営し、約50余名の団員と共に、演劇制作及び演技訓練に対する実験を統べている。

出演 浅瀬 拓	鈴木泰子	堀部由加里
大川こはる	高津征郎	路井恵美子
笠河英雄	竹橋 団	南澤あつ子
河東けい	名取由美子	宮田圭洋
門田 草	服部桃子	宮村信吾
金子禪子	保木本佳子	森本竜一
		亘 敏治

お問い合わせ

第2回日韓演劇フェスティバル

関西ブロック企画実行委員会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-1-39-315

スタジオ315内 ☎ 080-4025-2202

<http://nikkan-engeki-festival.blogspot.com>

チケット予約

日韓演劇フェスティバルin大阪チケットセンター
(ヌーヴォ・スタジオン 劇団しし座)

☎ & ☎ 06-6653-9339

✉ nikkan.engeki.festival@gmail.com



トンマッコルへ ようこそ(舞台公演)

作／チャン・ジン 翻訳／洪 明花
演出／東 嘉司(劇団棲童子)

一枚の写真がある…敵対する兵士達が村の人々と一緒に写っている…なぜみんな笑顔なのか…?

戦争が激化した1950年秋の暮れ…彼らはこの村で出会った…銃を構え、手榴弾を手に握り、脅しあい、悲鳴をあげて…。

古ぼけた写真が鮮やかに紡ぎ出す、トンマッコル村の物語。

2月8日(水) 19:00

会場／ドーンセンター
7階・ホール

前売／3,000円 当日／3,500円
学生／前売・当日ともに2,000円



東 嘉司(劇団棲童子)

1999年に「劇団棲童子」を旗揚げ。劇団代表であり、創作、演出、美術を手掛ける。ウェットな作風とダイナミックな仕掛けの演出が融合した「生」への渴望みなぎる力

強い作品は、大変高い評価を受けている。2004年から三年連続で岸田國士戯曲賞最終候補となり、『軍艦307』(2007年)では龍屋南北戯曲賞最終候補に選ばれた。劇団棲童子公演『海猫町』(2006年)で第61回文化庁芸術祭優秀賞、『海獣』(2009年)で倉林誠一郎賞、『蟹』(2010年)でバッカーズファンデーション演劇激励賞を受賞。

出演 松田賢二	深津紀曉	もりちえ
鈴木歩己	井上昌徳	新井結香
Chris Parham	橋本克己	中井理恵
.	鈴木めぐみ	大手 忍
原口健太郎	外山博美	板垣桃子
池下重大	川原洋子	.
桑原勝行	山本あさみ	塩野谷正幸

お問い合わせ

日本演出者協会(平日11:00~18:00)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30

芸能花伝舎3階

☎ 03-5909-3074 ☎ 03-5909-3075

✉ j_d_a_info@yahoo.co.jp

<http://jda.jp/>



合同競演(2本立て) 劇団タルオルム ノリベハルラサン

**2月10日(金) 18:00
11日(土) 祝 14:00/18:00
12日(日) 13:00/17:00**

**会場/ドーンセンター1階
パフォーマンススペース**
前売/3,000円 当日/3,500円
中高生・障がい者(介助者1名様無料)
前売/2,000円 当日/2,500円
小学生/前売・当日共に500円

劇団タルオルム チョゴリの地

作・演出/金 民樹



金 民樹

1974年、大阪生まれ。在日3世。朝鮮大学校政治経済学部哲学科卒業。2003年より、一人芝居『ヨボセヨ?ウリマル』、古典劇『ノルボ伝』、『春香伝』各地で上演。27公演・観客動員4000人を超える。2005年6月、劇団タルオルム旗揚げ、代表を務める。作・演出に『ゆらぐ』、演出にマダン劇『4.24の風』、『トッキ伝』等がある。Mayの座長金哲義とUnit航路-ハンロ-を結成、精力的に活動している。

旗揚げ公演を目前に控えた2005年の春、私は濟州島へ向かい、彼らと出会った。その後、私たちも彼らも玄海灘を超え、大阪、濟州島で幾回も語り合つた。ノリベハルラサンは毎年4月に、六十数年前に起きた国家権力による島民虐殺・濟州島4.3事件をテーマにマダン劇を上演している。濟州島の豊饒と共に生きる彼らの真まじいエネルギーに触れ、いつか彼らと競演できることをずっと夢見てきた。劇団タルオルムはチョゴリに秘められた記憶と誇りを。ノリベハルラサンは失われた村の叫びを、後者の肉体と受け継がれてきたチェジュのリズムでもって、私たちを圧巻する事だろう。



劇団・太陽族
**2月11日(土) 祝 19:00
12日(日) 15:00**
会場/ドーンセンター7階・ホール
前売一般/3,000円
前売学生/2,000円(当日要学生証)
前売ペア割引/5,000円(劇団予約・前売のみ)
当日一般/3,300円 当日学生/2,300円
※全席自由・日時指定・整理券番号付

異郷の涙

作・演出/岩崎正裕(劇団・太陽族)

今を生きる人びとの姿を活写し、社会を浮き彫りにする作品を提示してきた劇団・太陽族。今回は、韓国から俳優を招き共同製作に挑みます。

高度経済成長期の日本を生きた韓国人男性の人生を軸に、戦後から現在に至る日本を見つめる物語。

日韓に横たわる歴史認識の差異、領土問題、在日コリアンなどさまざまな問題やわだかまりへのベクトルを持ちながら、戦後生まれの我々の現在を普遍的な人間ドラマとして描きます。

ノリベハルラサン(濟州島) 4月儀式 ホンミヨ-虚の墓-

(韓国語 & 字幕)

共同創作 脚色/キンキョンフン 演出/ウンミラン



キンキョンフン(作家・演出家・俳優・詩人)

1962年生まれ。1987年8月「ノリベハルラサン」創立会員。1989年「ノリベハルラサン」代表歴任。濟州作家会議会員。詩集に「きれいな子は皆死んで」「運動不足」「不服従のハルラサン(日本語訳)」などマダン劇台本集「こつそりおいで」。MBCラジオ濟州ドラマ10部作「ハルラサン」執筆。



ウンミラン(俳優・演出家)

1991年2月入団。第20回全国民俗劇ハングマン民族俳優賞受賞。2007、2010年度「ノリベハルラサン」代表歴任。現重要文化財第71号「濟州チルモリタン儀式」保存会 伝修撰学生。演出作に1999年1月「青少年劇 ハオルム」創立公演「教室イテア」「マダン劇 セギョンノリ」(04) 四月儀式「百祖一孫」(10)

チョゴリの地

400年前、南江に飛び込んだ一人の女性がいた…
100年前、里で汚れたチョゴリを洗う一人の女性がいた…
チョゴリを筋ぐ母の姿と、その想いを受け継ぐ子の物語、三部作。

虚の墓

理由もわからず虚殻から逃れた村の人々。洞窟の中で生活を始めるが…1940年代後半から50年代にかけて濟州島で起きた実話をもとに描く、血塗られた韓国の闇をマダン劇の手法でもって描く。

出演(チョゴリの地)

金 民樹	李 知子	ウンミラン	カンチャンフン
姜 威湖	全小百合	ウンヒョンスッ	キンヒョンチヨル
卞 怜奈	浅野崇浩	ヤングンヒヨツ	チエヒヨン
洪 京枝	(松竹芸能)	ヒョンエラン	チエサンドン
		ウスンヒヨツ	チヨンウンシッ
			キンジフン

出演(4月儀式 ホンミヨ-虚の墓-)

金 民樹	李 知子	ウンミラン	カンチャンフン
姜 威湖	全小百合	ウンヒョンスッ	キンヒョンチヨル
卞 怜奈	浅野崇浩	ヤングンヒヨツ	チエヒヨン
洪 京枝	(松竹芸能)	ヒョンエラン	チエサンドン
		ウスンヒヨツ	チヨンウンシッ
			キンジフン

お問い合わせ(ご予約)

✉ talorum2005@yahoo.co.jp
http://www.office-wink.com/tal-orum/



岩崎正裕

1963年三重県鈴鹿市生まれ。劇作家・演出家。劇団・太陽族代表。現在、アイホール劇場ティレクター、NPO法人大阪現代舞台芸術協会理事長、大阪芸術大学短期大学講師など。

1982年大阪芸術大学舞台芸術学科入学。同年「劇団大阪太陽族」(現:劇団・太陽族)を旗揚げ。1990年から「1990太陽族」2001年から現在名で活動を継続。1994年「レ・ボリューション」で第1回OMS戯曲賞佳作、1997年「ここからは遠い国」で第4回OMS戯曲賞大賞を受賞。その他1997年大阪市さくやこの花賞、1999年兵庫県芸術奨励賞、2000年大阪府舞台芸術奨励賞などを受賞。代表作はほかに「空の絵の具」「それを夢と知らない」「音楽劇JAPANESE IDIOT」「越境する蝦夷」「往くも還るも」など。

劇団での活動のほか、各地で戯曲塾講師や演劇ワークショップ講師や、プロデュース公演・市民参加舞台の作・演出を手掛け、舞台芸術普及活動を広く展開している。

出演

森本研典	中西由宇佳
南 勝	韓 寿恵
岸部孝子	米田 順
篠原裕紀子	キム・ジュンテ
前田有香子	チヨン・ウォンテ
佐々木淳子	キリル

お問い合わせ(ご予約)

劇団・太陽族
☎ & ☎ 06-4801-4724
✉ taiyozoku@osaka.email.ne.jp
http://www.ne.jp/asahi/gekidan/taiyozoku/

助成

芸術文化振興基金

主催

劇団・太陽族



韓国文学リーディング(日本語)

2月13日月 19:00

14日火 19:00

会場／一心寺シアター倶楽

前売／1,500円 当日／1,800円

朗読劇団 朗読GEN 秘密の花園

原作／金 榛永 翻訳／西村麻里・金 京子

上演台本・構成・演出／秋山太加

朗読GENが初めて取り組む、韓国現代小説。

物語は1997年、大統領選挙を背景に始まる。小学生のカン チヨンアにとって叔母は憧れの人。でもその叔母は80年代の学生運動に関わって投獄されたことがあります。今は死んだように毎日を送っている。叔母とチヨンアは時々、二人の秘密の花園に出かける。

ある日、叔母の枯渇した心の花園につぼみが芽生えはじめた。果たして、叔母は新しい未来に向かって生きていけることができるのか……。

お互いの思いのちぐはぐさがおかしい、けれどやっぱり思いあっている、そんな家族の姿が、シニカルな中にも、ユーモアに富んだ文章で描かれたこの小説の魅力を朗読劇でお届けします。

泉南マダン 詩人 尹東柱を説く —「日帝残滓清算」をあらためて—

原作／尹東柱 翻訳／金時鐘・石捷間 他

構成・演出／石捷間(ソク・チョブカン)

「日帝残滓清算」というと、日本では生硬なる閉ざされた左翼集団の政治的専門用語のように使われているが、韓国ではごくあたり前に使われている言葉です。そして韓国でも日本でも民衆は未だに「日帝残滓」から解放されていません。

この言葉をよりどころに、日本を見なおしてみると、「本名」を呼び名告る在日朝鮮人教育・差別抑圧を超えて共生社会を築く人権運動、朝鮮語・手話・朝鮮の芸能の復権と流布、泉南アスペスト国賠訴訟支援など、様々な課題が浮き上がります。

詩人・尹東柱を詩いながら日韓の東アジアの今をあらためて考え直したいと思います。



秋山太加

1990年に朗読を始める。03年に朗読劇団 朗読GEN結成。代表をつとめる。構成、演出を担当。



石捷間

出演(秘密の花園)

秋山太加 田中章恵 太田淑子 福嶋左知子
友情出演・橋田獅子丸(劇団猫の森)

出演(詩人 尹東柱を説く)

泉南マダン(韓国芸能演奏グループ:代表・石井宏)
シュワ'K(手話コーラスグループ:代表・川畑貴子)

お問い合わせ(ご予約)

朗読劇団 朗読GEN

☎ & ☎ 0742-48-8688

✉ roudokugen@yahoo.co.jp

<http://r-gen.jimdo.com>

泉南マダン事務局

☎ & ☎ 0724-83-2038

✉ 090-6054-5500



May

2月17日金 19:00 「風の市」

18日土祝 14:00 「風の市」

19:00 「チャンソ」

19日日 13:00 「チャンソ」

17:00 「チャンソ」

会場／一心寺シアター倶楽

前売／2,500円 当日／2,800円

シニア(65歳以上)割引・中高生割引(要学生証)

前売・当日共／1,800円

2作品通し券(日時指定・要予約)／4,000円

風の市 作・演出／金 哲義

1960年代後半、大阪。

猪飼野と呼ばれた町に住む7人兄妹の新井家に突然やってきた「兄さん」……。

彼の巻き起こす突風の向こうには、兄妹達の知らない世界、知らない故郷があった。

ふらりとやってきた兄さんが、ふわりと海へ還るまでの、瞬く間の7年間の物語。



金 哲義

1971年大阪生まれ。1993年「劇団メイ」結成。2002年「May」と改め、

ライブイベントの他、演劇以外の活動も行う。結成以来殆どの作品を作演出。

近年は己のルーツを全面に打ち出し好評を得る。2007年/2009年アリス

フェスティバルにてAlice賞を受賞。2010年 演出者協会主催 若手演出家コンクールにて最優秀賞と観客賞を受賞。2011年 慶典院芸術祭

space×drama 2011にて優秀劇団に選出される。劇団タルオルム代表金民樹とUnit航路・ハンロ-を結成、主宰。

チャンソ 作・演出／金 哲義

1989年の大阪朝鮮高級学校。主人公チャンソは民族と大阪朝高の伝説の皮をまとい毎日を過ごしていた。強くなれば居場所を確保できない場所で、ある日一人の日本学校の生徒に打ちのめされる。

一方、チャンソがひそかに想いを寄せる、カヤグムを弾く少女ソナは、所属する民族器楽部の廃部が迫る中で、時代と伝統に場所を捜し求める。次第に場所(チャンソ)を失っていくチャンソとソナは自分が越えるべきものは何なのかを、その答を捜し求める。

出演(風の市)

柴崎辰治・木場夕子

田中志保・齊藤友恵

宇仁哲綾・金 哲義

ふくだひと美(劇団フジ)

中野リ子

植村好宏(People Purple)

有馬ハル(オリゴ党)

岩本ゆかり(パバロワーズ)

浅野崇浩(松竹芸能)

木下聖浩(パンタムクラス)

上田裕之(イズム)

林寛子

出演(チャンソ)

柴崎辰治・木場夕子

田中志保・齊藤友恵

倉畠和之

金恵玲(劇団アランサムセ)

野村侑志(オパンボン創造社)

片岡雅

有馬ハル(オリゴ党)

木下聖浩(パンタムクラス)

齊藤清士郎(劇団猫の森)

石川晃

ステージ

浅野崇浩(松竹芸能)

ゴンダユウイチロー

上田裕之(イズム)

市川亨

口柳奏子(ストロベリー

ソングオーケストラ)

林寛子

姜愛淑(劇団タルオルム)

卞怜奈(劇団タルオルム)

お問い合わせ(ご予約)

<http://may1993.syncl.jp/>

✉ may-1993@abox.so-net.ne.jp

☎ 06-6976-6592

- | | | |
|------------------------------------|--|------|
| 3 ◎ 『小町風伝』19:00 | 『オープニングセレモニー』開場は18:00、18:15～30分程度を予定しています。 | |
| 4 ± 『小町風伝』14:00★アフタートークあり / 19:00 | | |
| 5 ◎ 『小町風伝』14:00 | | |
| 6 ± | | |
| シンポジウム「日韓の歴史の間で」18:30～★ | 7 ◎ | |
| 『トンマッコルへようこそ』(舞台公演)19:00★ | 8 ◎ | |
| | 9 ◎ | |
| 劇団タルオルム・ノリベハルラサン18:00★ | 10 ◎ | |
| 劇団太陽族19:00★ | 劇団タルオルム・ノリベハルラサン14:00 / 18:00★ | 11 ± |
| 劇団太陽族15:00★ | 劇団タルオルム・ノリベハルラサン13:00 / 17:00★ | 12 ± |
| ☆=7階ホール ★=1階パフォーマンススペース | | |
| 13 ◎ 読説劇団 読説GEN 19:00 | | |
| 14 ◎ 泉南マダン 19:00 | | |
| 15 ◎ | | |
| 16 ◎ | | |
| 17 ◎ May 『風の市』19:00 | | |
| 18 ± May 『風の市』14:00 / 『チャンソ』19:00 | | |
| 19 ± May 『チャンソ』13:00 / 『チャンソ』17:00 | | |



チケット取扱一覧	小町風伝	ようまっコルヘル	劇団太陽族	劇団タルオルム	リベハルラサン	リトテイ文学	May	特別割引券
参加団体／作品別窓口		●	●	●	●	●	●	●
作品出演者他	●		●	●	●	●	●	●
日韓演劇フェスティバル in 大阪チケットセンター	●							●
日本演出者協会		●						

特別割引券: 6,000円 全作品の中から、3作品を選んでご購入になれます。
ただし、ご予約の際に、観劇予定の作品と日時を指定して下さい。

日本演出者協会(平日11:00～18:00) ■ TEL03-5909-3074 ■ <http://jda.jp/>
日韓演劇フェスティバル in 大阪チケットセンター ■ TEL & FAX06-6653-9339(ヌーヴォ・スタジオ・劇団し座(月～金・10時～18時)) ■ nikkan-engeki.festival@gmail.com
日韓演劇フェスティバル in 大阪公式ブログ ■ <http://nikkan-engeki-festival.blogspot.com>
CoRich舞台芸術!(こりっち)も、検索してみて下さい!



日韓演劇フェスティバルへ、夢・羽ばたく

日本演出者協会関西ブロック代表 菊川徳之助

日韓演劇フェスティバルが関西でも開催できることになった。第2回日韓演劇フェスティバルは、東京、大阪、九州の3都市で開く。画期的なことだ。韓国の演出家を招聘して、関西在住の役者で舞台をつくる。韓国のマダンも来る。地元在日の劇団の公演、大阪の小劇場劇団のオリジナル、韓国舞曲や物語のリーディング、と多彩なプログラムで彩る。

2月初旬から2週間のフェスティバルである。韓国と日本は、飛行機で2時間くらいの近い距離だ。しかし、まだまだ精神的には、遠い国だ。歴史の残酷さ、思かな人間の欲望と判断は、いろんなことを狂わせてきた。だが、私たちは、両国の演劇人の演劇上演や語らいをえて、素敵な方向へ向かって行きたい。私的なことだが、韓国へは観劇交流でソウル（京城）へ、演劇上演でチョンチョン（春川）へ行ったことがあるくらいであるが、このたびの、「小町風伝」は、日本の劇作家・太田省吾の作であり、韓国の優秀な演出家イ・ウンテクの個性豊かな上演で幕を開け、豊富な企画は、二国を近い距離してくれると思う。

「母と子、日韓の歴史の間で」大阪マダン

堀江ひろゆき

第2回日韓演劇フェスティバル関西ブロック企画実行委員長 東京、大阪、福岡の三都市で開催される今回の日韓演劇フェスティバルは文化交流をより深化させる取り組みとなりました。1910年の韓国併合から36年に渡る植民地政策は韓国民に多大な迷惑をかけると同時に多くの在日韓国人・朝鮮人を産み出すことになりました。在日韓国人・朝鮮人の層も多い地域である関西での開催の実現は意義のあることと思い、在日色をより鮮明にすることでほかの地域との違いを表現することになりました。韓国の劇作家であり、詩人である演出家の李潤澤（イ・ウンテク）氏と関西の役者たちのコラボレーション、マダン劇団の参加は、日須茶の間に流れる韓流ブームのテレビドラマ等とは違う生の芸術に触れる喜びがあると思います。マダンとは広場を意味します。「その時、その場で、その人々」と言う消えていく芸術である演劇を通して、経済優先の現実の価値観を変革する機会にしたいと思います。

第2回日韓演劇フェスティバル関西ブロック企画実行委員会

実行委員長=堀江ひろゆき 実行委員=井之上淳／笠井友仁／金子順子／木嶋茂雄／全リンダ／田中孝弥／保木本佳子／山口浩章／秋山太加／石井宏／岸部孝子／高橋俊也／金哲義／民林根 制作協力=河口円／黒田恵／高木真理子／宮崎美智子／山室功 協力=一心シアター銀座／大阪現代舞台芸術協会／大阪新劇協議会／劇團大阪／劇團五期会／劇團しらす／劇團ひまわり／スタジオ315／全日本アリズム演劇会議西会議／ヌーヴォ・スタシオン／ブレヒトカラー／在日韓人歴史資料館／日韓演劇交流センター／岡本昌己／民俗工房 共催=ドーン運営共同体 パンフレット作成=松本久木（MATSUMOTOKO Ltd.）

第2回日韓演劇フェスティバル実行委員会

総合プロデューサー=（日本側）和田晋夫（韓国側）金成魯（キム・ソンノ）／朴翠烈（パク・チャンヨル） コーディネート=（東京）洪斯花（ほん・みよんふか）／（大阪）堀江ひろゆき（福岡）山田鹿理香 制作=（東京）上田裕子／齊藤由貴／左藤鹿／高橋俊也（大阪）井之上淳／金子順子／菊川徳之助／笠井友仁／木嶋茂雄／田中孝弥／保木本佳子／山口浩章／全リンダ（福岡）アートマネージメントセンター福岡（AMCF）／韓国眞記 後援=韓日演劇交流協議会／韓国演劇協会／在日韓人歴史資料館／日韓演劇交流センター／日本劇团協議会／日本芸能団体実演家団体協議会／日本新劇俳優協会／日本新劇製作者協会／日本劇作家協会／日本舞台音響家協会／日本照明家協会／日本舞台監督協議会／国際演劇協会日本センター（ITI）／国際演劇評論家協会日本センター（AICT）／カンフェティ（ロングランプランニング（株））／月刊シアターガイド／シアトロ／悲劇首劇

日本演出者協会 TEL:03-5909-3074 FAX:03-5909-3075 j_d_a_info@yahoo.co.jp http://jda.jp/

理事長=和田晋夫 副理事長=宮田慶子／流山晃洋 理事=青井龍治／鶴山仁／大西一郎／菊川徳之助／木嶋茂雄／木村繁／鷺上尚史／小林七緒／坂手洋二／篠崎光正／篠本賢一／西沢栄治／西川信廣／深津龍史／ふじたあさや／松本祐子／山田恵理香／渡部ギュウ 事務局長=大西一郎 副事務局長=篠本賢一 評議員=内山謙／栗山民也／亜生正美／福田香之／中村釋夫 監事=福田悦雄 広報部=篠崎光正／菊川徳之助／篠本賢一／森井隆／流山晃洋（東京）秋葉貢亮子／今井夢ゆ／大杉良／小川功治郎／島原秀一／鈴木美恵子／林未知／平尾麻衣子／三谷麻里子／鈴川華仁（関西）木嶋茂雄／田中孝弥（東海）はりみか（新潟）井上ほーりん（京都）松宮信男（福岡）糸山裕子 国際部=篠本賢一／青井龍治／鶴山仁／貝山武克／坂手洋二／堀江ひろゆき／松本祐子／森井聰（東京）青柳敦子／家田淳／小林拓生／原川透朗／佐々木治己／左藤慶／中野志誠／林英樹／洪明花／前船の／松森望宏／長谷川直輝（関西）坂手日登美／全リンダ／田中孝弥／櫻瀬美幸／土橋淳志（東海）佐久間広一郎／はりみか／本庶勲（仙台）伊藤みゆ

in 東京 1月17日(火)~30日(月)

あうるすぼっと

豊島区立舞台芸術交流センター

■演劇公演

劇団サンスユ『奇妙旅行』（招請作品・韓國音上演・日本語字幕付き）
作=古城十忍 演出=リュ・ジュヨン（劇団サンスユ）
1月19日(水) 19:00 20日(木) 14:00 / 19:00

劇団△太陽族『異郷の涙』

作・演出=岩崎正裕（劇団△太陽族）
1月23日(土) 19:00 24日(日) 15:00

『トンマッコルへようこそ』

作=チャン・ジン 翻訳=洪朝花 演出=東憲司（劇団桂枝童子）
1月27日(水) 19:30 28日(木) 13:00 / 18:00
29日(金) 13:00 30日(土) 13:00

韓国伝曲ドラマ・リーディング in ホワイエ

『道の上の家族』
作=チャン・ソンヒ 翻訳=石川樹里 演出=須藤黄英（青年座）
1月18日(水) 15:00 / 19:00

『異将軍の足の爪』

作=パク・ヨジヨル 翻訳=石川樹里 演出=中野志郎（文学座）
1月22日(日) 13:00 / 17:00

『こんな歌』

作=ジョン・ボックン 翻訳=石川樹里 演出=夏井孝裕（reset-N）
1月25日(水) 15:00 / 19:00

『ちゃんぽん』

作=ユン・ジョンファン 翻訳=津川泉 演出=広田莉（ブルバキブリュス）
1月26日(木) 15:00 / 19:00

■イベント／トーク

オープニングセレモニー

・マッコリ乾杯・挨拶・フェスティバル参加者パレード・交流会 1月17日(水) 19:00-20:30

おいでよマダン！日韓文化祭

日韓演説（日本語と韓国語演説）古今亭菊千代
新内「ぶんや・ありらん」岡本富之助 他
1月21日(日) 13:00-17:00

アジア最大の劇場街・大学路

①韓国演劇事情・演劇教育 1月19日(水) 16:00-18:00
②韓国演劇留学よもやま話 1月23日(日) 16:00-18:00
ちゃんソリ～在日ってどないやねん!?～
1月29日(土) 16:00-20:00

韓国現代演劇の魅力～日韓演劇交流センターの活動から

1月24日(火) 19:00-21:00

『マルセ太郎』回顧展ゲストトーク

1月27日(金) 13:00-16:00

エンディングセレモニー

1月30日(月) 17:00-18:30

お問い合わせ 日本演劇者協会(平日11:00-18:00)

TEL:03-5909-3074 FAX:03-5909-3075

j_d_a_info@yahoo.co.jp http://jda.jp/

in 福岡 2月11日(土)~19日(日)

福岡・大博多ホール

福岡市博多区博多駅前2-20-1 大博多ビル12F
TEL: 092-474-6181

■フェスティバルメイン作品

『トンマッコルへようこそ』
作: チャン・ジン 演出: 東憲司（劇団桂枝童子）
2月11日(土) 18:30 開場 19:00 開演

■招聘劇団

2010年釜山演劇祭最優秀賞受賞団体 劇団スリエ「恋愛」
作: 劇団スリエ 演出: ガン・ソンオ
2月17日(金) 18:30 開場 19:00 開演

■日韓共同制作作品

創作ミュージカル『春香伝～韓国版ロミオとジュリエット～』
原作: 春香伝 構成・演出: 山田直理香（空悟再生事業劇団GIGA）
2月19日(日) 14:30 開場 15:00 開演

福岡市立青年センター ワンコイン実験シアター

福岡市中央区大名2丁目6-46
TEL: 092-712-2947

■韓国伝曲リーディング

『旅路』作: ユン・ヨンソン 演出: 安永史謝（劇団アンソクル）
『0.917』作: イ・ヒヨナ 演出: 木村佳奈子（非・売れ線ビーナス）
2月18日(土)

北九州芸術劇場 小劇場

北九州市小倉北区室町1丁目1-1-11
TEL: 093-562-2655

劇団△太陽族『異郷の涙』作・演出=岩崎正裕
2月4日(土) 18:30 開演 / 5日(日) 14:00 開演
(主催) 劇団太陽族 〈提携〉北九州芸術劇場

日韓演劇フェスティバル in Fukuoka ブログ
<http://blog.goo.ne.jp/nikkan2012>

お問い合わせ——アートマネージメントセンター福岡
〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-26-405
TEL: 092-752-8880 FAX: 092-752-8682
Mail: ohmaru@amcf.jp

日韓演劇
フェスティバル
in 大阪